

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の状態判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・春休み中は、新入学等の需要で集客があった。その後も気温の上昇に伴い、春物や夏物の需要が伸びている。また、休日を中心に観光客も増加している。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・大型商業施設の開業効果が顕著である。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・新規顧客獲得施策が功を奏し、来店客数が増加傾向にある。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・エコカー減税、補助金制度の効果が大きく、前年比200%を超え、前々年比でも110%と大幅に伸びている。
		その他専門店【酒】（経営者）	販売量の動き	・メーカーから新製品が発売され、その売行きが良好である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・市街地では目立った変化はない。昨年は東日本大震災の影響でお遍路さんが少なかったが、今年は閏年の八十八箇所を逆に参る「逆打ち」の年に当たるため、仕事は増えてきており、総合的な客数は増加している。
		通信会社（社員）	販売量の動き	・スマートフォンを中心に販売数が増加している。
		通信会社（企画）	お客様の様子	・オプションチャンネルなどの引き合いが増えており、以前より良くなっている。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・建設単価が下げ止まり、若干、上昇に転じている。
変わらない	商店街（代表者）	競争相手の様子	・四国最大級の大型商業施設が開店し、にぎわっているものの、ブームは長続きはしないと考えている。中心商店街では6年ぶりに映画館が復活し、ヨ・ロッパ風の市場やアートで飾るまちの風景も人気が高い。	
	一般小売店【生花】（経営者）	それ以外	・新年度がスタートし、新たに開店した店もあるが、小規模店舗が多い。このため、開店祝用商品の単価が低く、販売数も伸びない。	
	一般小売店【酒】（販売担当）	販売量の動き	・消費者が量販店に流れ、販売量の増加は見込めない状況にある。	
	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・3月までは来客数・売上共に上昇してきたが、4月は来客数が前年より減少している。	
	百貨店（営業担当）	それ以外	・前年に比べて、売上は確保したものの、来客数は若干下回った。高級婦人服・ブランド商品・化粧品・呉服等が苦戦したが、その他の商品は概ね前年並みとなった。	
	スーパー（店長）	販売量の動き	・客単価は横ばい状態である。特売は価格が以前よりも下がっているため、売上に結びつかない。	
	スーパー（企画担当）	来客数の動き	・東日本大震災後の商品不足から買いための来店客数が増えた昨年の反動で、今年は客数が減少している。	
	スーパー（財務担当）	販売量の動き	・ほぼ前年並みの売上であり大きな変動はない。	
	コンビニ（店長）	お客様の様子	・消費者が買い控えていると感じる。ゴールデンウィークのために例年以上に節約している。財布のひもが固く、来店客数は確保できているものの、必要以上の買物をしない。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・4月は週末に悪天候の日が多かったことに加え、大型商業施設の進出もあり、来店客数が減っている。婦人服を中心に20%ぐらい落ち込んでおり、その他は前年並みである。	
	家電量販店（店長）	単価の動き	・売上高は前年比10%落ちているが、単価は5%上昇しており、数字的には変わらない状況である。	
	家電量販店（営業担当）	お客様の様子	・冷蔵庫、洗濯機など白物家電製品では、ワンランク上の商品を購入される消費者が増えている。これまで買い控えていたことや、価格が手頃になってきていることから買換えに繋がっている。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金と減税制度により現状を維持できている。	
その他飲食【ファストフード】（経営者）	販売量の動き	・客単価は上昇しているが、客数が減少していることから、売上が減少傾向にある。来店回数を減らしたために、一回に使う金額は少し増加している。		

	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ゴールデンウィークを控え、来客数が伸び悩んでいる。	
	都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・来客数は、増加してきているが、勢いが無い。客単価がまだ下落している。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・乗客との会話のなかで、会社および給料の状況を1月と4月を比べた際に、約60%の乗客が変化無しと言っている。客単価はほぼ横ばいである。	
	通信会社（営業担当）	競争相手の様子	・販売は順調であるものの、他社との競争環境が厳しくなっている。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・春休みが終わり、4月中旬以降の来店客数は減少した。販売量は計画をやや下回る状況で推移している。スマートフォンに興味を持つ消費者は多いが、廉価な機種を購入される場合が多い。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・消費する人と節約する人に二分している。前年と比べて客単価は上昇しているものの、来客数の減少が続いている。	
	美容室（経営者）	お客様の様子	・とくに変化はない。	
	設計事務所（職員）	競争相手の様子	・年度始めであり、新規受注高は低調であるが、毎年のことであるため、不安は抱えていない。	
やや悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・外商部門の売上は好調であるが、店頭における参考書の売上が非常に悪く、トータルでは前年並みとなっている。	
	コンビニ（総務）	来客数の動き	・来店客数が前年同月比で1%ダウンしている。	
	衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・1人当たりの購入枚数が減少してきている。	
	家電量販店（店員）	単価の動き	・販売量も低下しているが、それ以上に販売単価の低下が顕著である。	
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・3月まではエコカー補助金制度の追い風で順調な販売が出来たが、8～9月と予想される補助金打ち切りを見据えた買い控えが現れ始めた。	
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・1～3月のエコカー補助金の効果による新車受注状況と比較すると、4月の受注は減少している。	
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・エコカー補助金と減税制度により、ハイブリッド車を中心として、3月までは受注・販売の増加が続いていた。しかし、4月に入ると減少してきている。	
	旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・4月の個人旅行の販売状況は、東日本大震災の影響を受けた昨年と比較しても良くなっていない。	
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・昨年は東日本大震災の影響で、来場者が大幅に減少したが、今年も週末の悪天候などから予想に反して来場者が伸び悩んでいる上に、単価も減少している。	
		競艇場（職員）	販売量の動き	・4月の売上は、3か月前比33.8%減、前月比19.5%減と減少傾向が続いている。
悪くなっている	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・飲食店向けの販売が悪い。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・小売店からの受注は増加傾向である。積極的に店舗のリニューアルをしているところが多い。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・医療機器が欧州向けを中心に回復傾向にあり、受注が予想を上回っている。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・円高が修正されてきたことから、製造業の取引先に設備投資意欲が見られる。
		不動産業（経営者）	取引先の様子	・首都圏の会社が地方への出店意欲や不動産購買意欲を高めており、実際に案件の話が出ている。
変わらない	農林水産業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・競合産地の出荷が遅れ、受注は堅調に推移しており、市場全体の入荷量も少ないことなどから価格が支えられている。	
	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品を発売しても、予想していたほど受注量が伸びない。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事も民間工事も全体的に仕事が非常に少ない状況である。	
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・業界の状況は昨年と比べて上向いているが、先行き不安が根強く、前向きにはなりにくい。	
	通信業（部長）	取引先の様子	・取引先等と話をするなかで、3か月前と比較して景気が好転しているとの話は無い。	

	やや悪くなっている	鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・海外からの受注について6か月以上のタイムラグがあることから、昨年の円高の影響が最近になって始めている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・化学、電子部品、電子機器、製薬会社といった取引先の状況があまり良くなく、設備投資が大幅に抑制されている。そのため厳しい状況が続いている。
		輸送業（営業）	取引先の様子	・四国発着の貨物輸送に際しては、自社の他に県内外の協力会社を使用しているが、車両不足が深刻化してきている。車両不足は物流量低下による経費削減のため、車両不足の慢性化は致命的となっている。
		広告代理店（経営者）	競争相手の様子	・印刷業界の企業数が減少しているため、年度末は仕事が手に余る状態であったが、4月は一転して供給過多の状況になっている。
		公認会計士	取引先の様子	・各企業の決算、試算表から判断すると、売上が若干減少している企業や、収益が赤字に転落する企業が増えてきている。
	悪くなっている	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年と同様に、4月に入ってからは大変悪い状況である。
雇用関連	良くなっている			
	やや良くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・エコカー補助金の効果で自動車ディーラーからの受注が回復し、商談も増えている。
	変わらない	人材派遣会社（営業）	求職者数の動き	・新年度を迎え、新規採用で新たな雇用に結びついた求職者も見受けられる一方、3月末の契約満了後に、新たな就業に結びつく機会の無い人が目立つ。総合的にみて景気の変化に影響があるとは判断できない。
		職業安定所（職員）	それ以外	・3月の月間有効求人倍率は0.75倍で、3か月連続の横ばいである。
		民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・4月に入り、求人数は増加しているが、欠員を補充するため、従業員を増やすという理由で採用している企業は少ない。医療・介護の分野では、人手不足感がある。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・企業からの求人数の落ち込みと求人・求職のミスマッチが多く見受けられる。
職業安定所（職員）		求職者数の動き	・昨年と比べて、求職者が4割程度増加している。	
	悪くなっている	-	-	-